

## 平成 26 年度第 9 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「霞ヶ浦流域河川の魚と水生生物」を実施しました。

開催日時：平成 26 年 10 月 5 日（日）9 時 00 分～11 時 40 分

開催場所：霞ヶ浦環境科学センター

参加者：11 名

※雨天のため、「恋瀬川支流の豊かな生き物を観察しよう！！」を変更しました。

残念ながら雨天となってしまう、恋瀬川支流の川又川での観察をあきらめ、雨天時のプログラムに変更しておこないました。

まずは本来行く予定だった観察地と似た風景の、山あいの田園地帯を舞台にした田んぼと生き物のつながりを映した DVD を鑑賞しました。稲を作る田んぼが、それだけではなく、多くの生き物をはぐくむ場所として、ダイナミックに機能している様子にみな感動しました。また今年の観察会の様子を振り返り、観察するはずであった生き物たちについて写真で学びました。

続いて先ほど見た映像でも多くの生き物の餌資源として大切な役割をしていると紹介されたミジンコを顕微鏡にて観察しました。顕微鏡を覗くと、ミジンコの心臓が拍動する様子や卵を持っている様子をはっきり見え、子どもだけでなく、大人の参加者も真剣に取り組みました。ミジンコの次はセンターの池で採取したヤゴを使ってヤゴの分類方法について学びました。イトトンボのなかま、アカトンボのなかま、シオカラトンボのなかま、ヤンマのなかまと図を参考に調べていきました。ヤゴの詳しい同定は専門家ではないと難しいですが、簡単な分類でも、子どもたちに興味を持ってもらうには有意義に思いました。

最後はセンターで飼育している魚類や水生昆虫を見て回りました。特に現代では幻の昆虫となってしまったタガメの迫力ある姿には多くの参加者が興味深く観察していました。

雨のなか御参加くださった参加者のみなさん、パートナーのみなさんありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人